

2016年3月期 通期見通しについて

代表取締役社長
上釜 健宏

重点市場	市場動向	
ICT	↗	北米スマホは、3Q生産ピークで4Qも前年並みの生産を予測
	→	中国スマホ、韓国スマホは2Q→3Qも生産水準は微増
	→	HDD市場は前回想定より低調に推移（前回4.9→今回4.63億台）
自動車	→	国内、中国市場向け販売は前年割れも、欧米市場中心に下期も堅調に推移する見込み
	↗	xEV*は国内メーカー新型モデル発売により下期生産増
産業機器	→	再生エネルギー市場は、各国で大規模なプロジェクトも計画されており今後も需要が伸びると予測 産機市場は設備投資の抑制で国内向けは減速傾向

(当社推定)

*xEV：EV、HEV、PHEV

第3四半期の売上高増減イメージ



(億円)

セグメント 区分	2016年3月期 2Q実績	2016年3月期 3Q予想 (対2Q)
受動部品	1,502	±0%
磁気応用製品	853	-4%~-6%
フィルム 応用製品	641	+7%~+9%
その他	86	—
合計	3,081	±0%

為替前提

為替レート \$/Yen

122.31

115.00

為替レート EURO/Yen

136.06

130.00

2016年3月期 連結業績予想及び配当金見通し



期初公表値（4月28日）から変更なし

(億円)	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 業績予想	業績予想対前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	10,826	11,800	974	9.0%
営業利益	725	950	225	31.0%
営業利益率	6.7%	8.1%	+1.4pt	-
当期純利益	494	650	156	31.6%
1株当たり利益(円)	392.78	515.92	-	-
配当金	上期：40円 下期：50円 年間：90円	上期：60円 下期：60円 年間：120円	-	-
為替	対ドルレート	109.84	115.00	-
	対ユーロレート	138.88	130.00	-

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2016/2q_1.htm